

2007年7月16日中越沖地震調査団（土木学会・地盤工学会）速報会資料

東京大学生産技術研究所 小長井一男、池田隆明、井筒剛司

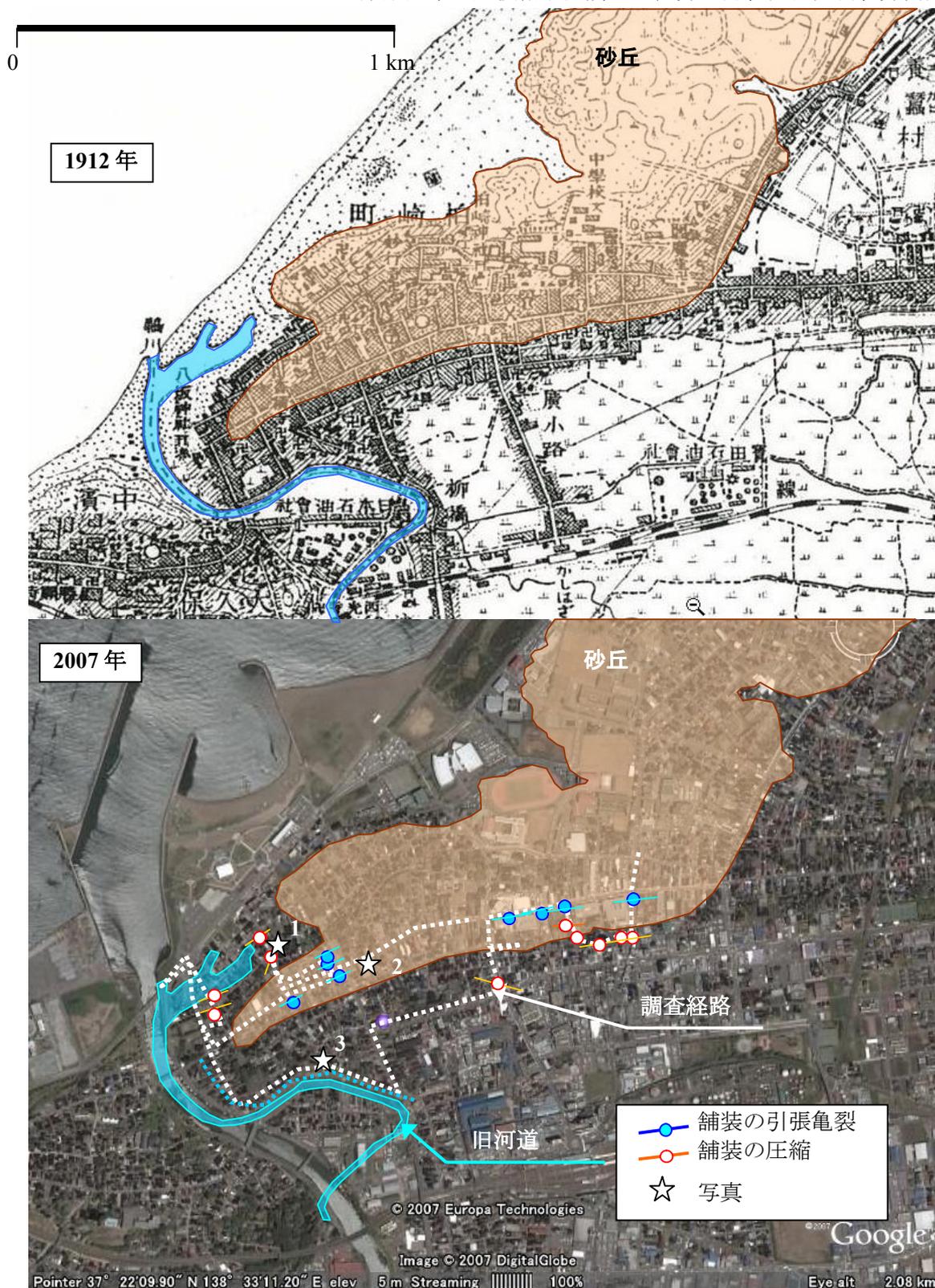


図1 柏崎中心部：砂丘と道路舗装変形：中心部には中央町、東本町、西本町。このあたりの全壊家屋数102（7月18日柏崎市役所）で被害集中。馬の背状の砂丘の肩部に舗装の開口、麓部分に沿って圧縮が目立つ。

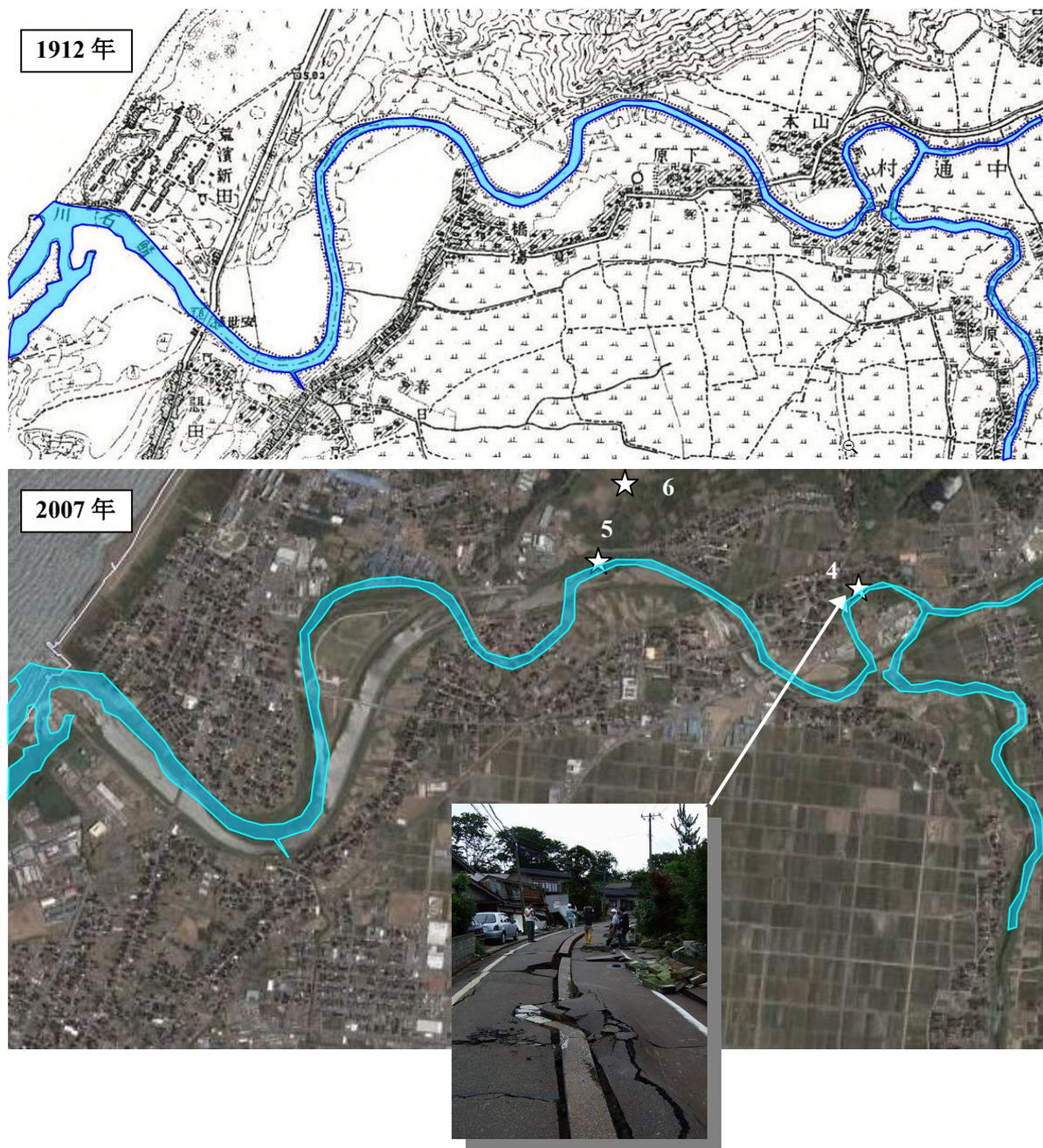


図2 鱒石川下流部の現河道（2007年）と旧河道（1912年）：  
写真4は1975年の航空写真では三日月湖。現在は写真のように道路になっている。旧河道（三日月湖跡）に沿って帯状に沈下。  
写真5は柏崎市クリーンセンター付近。道路沈下。荒浜砂丘（標高70m程度）の麓で旧河道の攻撃部分。  
写真6は写真5撮影箇所を北側の砂山。標高70m程度。



写真1: 西本町あたり。渦の跡地近くの低地



写真2: 西本町あたり。左に向かって緩い下り。



写真3: 鵜川旧河道沿い。



写真4: JR 越後線西中通駅東の旧河道（三日月湖跡）に沿って帯状に沈下した道路



写真5: 柏崎市クリーンセンター付近。左手が鯖石川の攻撃部



写真6: 写真5の右側（北側）の砂山。滑落の形跡あり（矢印）

その他



写真7: 青海川駅背面の斜面崩壊：海岸段丘の斜面に層理面（黄色矢印）。またすべり残しの部分も（白矢印）。写真提供：朝日航洋

#### 課題

1. 構造物の破壊形態や原地形との関連も含めさらに定量的な調査を進めることが必要。
2. 可能な限り機関別の情報を共有する方向に。
3. 集約したデータを公開する意味は大きい。
4. 最初に強い揺れ。これを追うように旧地形・地質を反映した地盤変形。いずれが深刻なのか、施設ごとに機能損傷とその影響をこのシークエンスで考え、対策を検討する必要あり。

\*\*\*\*\*

<http://shake.iis.u-tokyo.ac.jp/home-new/>